

シゲルくん通信

121
2023年
5月
発行号

建物超寿命化支援企業の
株式会社シゲル・コーポレーションが
毎月発行する瓦版です

NEO

当社が協賛するBSNラジオ番組『石塚かおりのBrand new day (7:15~8:54)』内にて
毎週火曜日、引き続き当社のCMオンエア中です!!!

▼文・絵：ことだま千絵子



6月9日金曜日18時からオンエアの
BSNラジオ『サロンdeかおり』に
私増村、出演させていただきます!

こんにちは【建物超寿命化支援企業】株式会社シゲル・コーポレーション社長の増村文武です。

当社は新年度より、協力会社の皆様と作る当社協力会の名称を『シゲル文英会』にあらためました。また新年度より新たにメーカー、ディーラー様を賛助会員としてお迎えし、従来の安全衛生管理の徹底にプラスして品質管理の一層の向上を当社、協力会社、メーカー・ディーラーの皆様との三位一体の連携で図っていく決意です。

今月号は、シゲル文英会としての最初の行事のご紹介や、まもなく完成予定の当社TVCM等についての最新情報をお伝えさせていただきます(^^)



何かと疲れの出やすい月。
自分をいたわりましょう。

今月のトピックス

- I. シゲル文英会 意見交換会 開催
- II. 7月より当社TVCMを開始予定
- III. 当社元請工事用の足場看板シート完成
- IV. 関東甲信越建築士会ブロック会 開催時に当社ブース出展予定

II.7月より当社テレビCMを開始予定

BSN新潟放送にて月~金の毎朝放送中の情報・報道番組『THE TIME』内で、7月より当社のTVCM放映予定です。

只今、順調にCM製作
進行中!!



I.シゲル文英会 意見交換会 開催



4月25日アートホテル新潟駅前にて、シゲル文英会2023年度最初の行事である、合同意見交換会を開催しました。当社社員12名、協力会社様14名、メーカー・ディーラー賛助会員11名の計37名で、安全、品質等幅広い内容で闊達な意見交換を行いました。

III.当社元請工事用 足場看板シート完成

当社の足場看板シート新しくリニューアルしました!!

当社元請工事用の足場看板シートを(株)当世館様より作成していただきました。当社のイメージ・キャラクター、シゲルくんが紺ベースにシックに映えます。

先日、実際の当社元請工事現場にてお披露目デビューを果たしました。

当社元請現場での実際の
掲示写真です。
今回は、1.8m×3.4mの
小サイズのものを使用
しました!



IV.関東甲信越建築士会ブロック会「新潟大会」にて、当社ブース出展予定

6月17日(土)、18日(日)に開催される関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会「新潟大会」の会場内にて、当社のPRブースを出展予定

※当社は6月17日(土)のみ
時間：10時~18時
会場：朱鷺メッセ

建物長寿命化につながるタイル外壁の剥落防止、予防及び事後保全に適した2種類の改修工法を、説明・竣工動画もご用意しながらご紹介させていただきます。

こんにちは! 建物超寿命化支援企業のシゲル・コーポレーションです

当社展示ブーステーマ
タイル外壁の剥落防止・保全技術

当社の展示ブースでは、建物長寿命化につながるタイル外壁の剥落防止、予防及び事後保全に適した2種類の改修工法を、説明・竣工動画もご用意しながらご紹介させていただきます

ブースNo. 20 にて、ぜひお待ちしております

剥離 落下

STOP!

予防保全に最適 クリアウォール工法 (施工面積70万m²・任意的実績)

事後保全にも対応 エバーガードSG工法 (技術審査取得・外壁複合改修工法)

当日は、タイルの腐蝕を損なわずに改修可能な上記2つの工法を、説明もご用意して御紹介いたします

建物長寿命化を目的とした防水・外壁の改修設計は、当社がお手伝いいたします

株式会社 シゲル・コーポレーション

荻昌弘さんを愛してやまない俺ちゃんのシネマコラム

連載第61回 今月のテーマ 『なぜ繰り返す・戦争の大罪と虚しさ』

★今月のイラスト



『競走馬 知人の方からリクエストをもらい、描かせていただきました!』

自称、シゲル・コーポレーション内で一番の映画好き、増村文武です。

先日は待望の『ガーディアンズ・オブ・ギャラクシー:VOLUME 3』劇場公開と同時に観てきました~予想外の涙🥹

ぜひ、またあらためてレビューをさせていただきます🙏

さて、数々の名作映画に出演し、私の大好きな女優の一人でありますオードリー・ヘプバーン🌟 最近、ヘプバーンが残した名言を紹介する本に出会うことができました📖 今年で没後30年となりますが、63歳の生涯を閉じるまでに、沢山の素敵な言葉を遺したヘプバーン 一つ一つの言葉には、自分らしく生きるヒントや勇気、そして彼女流の一流の洒落やユーモアがつまっています 私がお気に入りの言葉のひとつを御紹介させていただきます😊

『不可能(Impossible)なんてことはない、その言葉自体に
I,m possible!(私はできる)って書いてあるのだから』

そして、連載第61回目のテーマは『なぜ繰り返す・戦争の大罪と虚しさ』です テーマの表題が示すとおり深く考えられ、私にとつて重く息苦しいインパクトを残した3本を御紹介いたします🙏



★毎月掲載している挿絵はこちらからもどうぞ。

📺No.178『アメリカン・スナイパー (2014年 アメリカ映画)』

公開当時のキャッチコピーは、「米軍史上最多、160人を射殺した、ひとりの優しい父親」 本作、イラク戦争で現地に出向く、米軍特殊部隊に所属する一人の狙撃手の実話をもとに製作された1本📺 ブラッドリー・クーパー演じる主人公カイルはテキサス生まれ 弟とともにロデオに明け暮れる日々を過ごしていましたが、9.11テロをきっかけに国家に尽くしたいとの意志が芽生え海軍に志願、30歳という年齢ながらも厳しい訓練に耐え特殊部隊のシールズに配属されて、狙撃手としての任務に就くのでした👉 その後計4回イラクに派遣されることとなりますが、本作は戦場での惨さの表現もさることながら、主人公が派遣と帰国を繰り返す中で、自らの心に変調をきたしていくさま、そしてそれが原因で愛する妻や子供との関係までも崩れていく辛い現実を淡々と描いていきます 任務を完全に終えて帰国した主人公に待ち受ける運命は、重すぎます... 監督は、名優というよりもはや名監督と呼んだ方が良い御大クリント・イーストウッド、本作を観てあらためて、イーストウッドの監督としての手腕に脱帽👏

📺No.179『プライベート・ライアン (1998年 アメリカ映画)』

スティーヴン・スピルバーグ監督、トム・ハンクス主演 本作の原題は『Saving Private Ryan』ということで、1人の兵士の救出に向かう米軍兵員たちの物語となるわけですが、救出されるライアン役を若きマット・デイモン、救出作戦を仕切るミラー大尉役をハンクスが演じています🌟 第二次世界大戦時の重要な作戦として史実に残る、ノルマンディー上陸作戦を題材にした1本📺 冒頭の上陸作戦時の描写がすさまじく、本当に面食らってしまいます 第二次世界大戦時を描いた作品と言えば、本コラム第57回目で紹介した、同じスピルバーグ監督によるホロコーストを題材にした『シンドラーのリスト』も思い出されるわけですが、当然ながら戦況や地域、立場や人の視線が変われば、まったく戦争を扱った作品の趣も変わり、2作品を見比べれば全く異質の表現対比となっています⇄ 終戦から50年後、老人となったライアンがミラーの墓前で語り掛けるラストシーンも忘れられないのです🙏 アカデミー賞11部門ノミネート、監督賞、撮影賞他5部門受賞🏆

📺No.180『ブラックホーク・ダウン (2001年 アメリカ映画)』

私の大好きなリドリー・スコット監督作品👉 本作は、ソマリア内戦へのアメリカの介入と失敗を描いたノンフィクション小説を基にしています いわゆる「1993年のモガディシュの戦闘(多国籍軍とソマリア民兵グループとの市街地戦)」を、リアリティを追求して描いた1本📺 ブラックホークとは、米軍最強の強襲型ヘリコプター🚁 当初30分足らずで完了する予定だった敵の高官の強襲拘束作戦ですが、予期せぬ敵によるブラックホークの撃墜により状況が一変👇 敵地の真っ只中に残された仲間の救出のため、圧倒的優位と思われた多国籍軍は、敵が優位な市街地戦で逆に苦しい戦いを強いられることに🥹 その場に居合わせるような臨場感、延々と続く苦しい戦闘シーン👊 正解のない一瞬の判断がいとも簡単に命を飲み込んでいく戦争の虚しさ、こんなことを続けちゃいけない... 上記『プライベート・ライアン』にも出演していた存在感ある俳優トム・サイズモア、先般逝去されました 『レリック』の警部補役良かったなあ👉 ご冥福をお祈りいたします

もし御興味が湧いてきましたら、皆様もぜひ一度御鑑賞を (^_-)-☆

